

同窓会だより

'93/4 No.5 埼玉県立坂戸高等学校同窓会

坂戸市上吉田586
(0492) 81-3535

同窓会二十年を迎えて

坂戸高校同窓会会長
坂本 毅(一回生)

坂戸高校同窓会も、今生三月の二十回生を加え、二十周年を迎えることができました。これも、会員の皆様、評議委員の方々や学校などのご協力とお力添えがあったからだと考えております。

坂戸高校も二十年の間にだいぶ変わり、開校当時の面影が残っているのは校舎と体育館くらいだと思います。南側に小学校ができ、今思うと、学校の周りに何も無いグラウンドで北風に吹かれながら、

クラブ活動に熱中したことが懐かしく思い浮かべることができます。

現在、同窓会の活動は、春に坂戸文化会館で行われる「文化部総

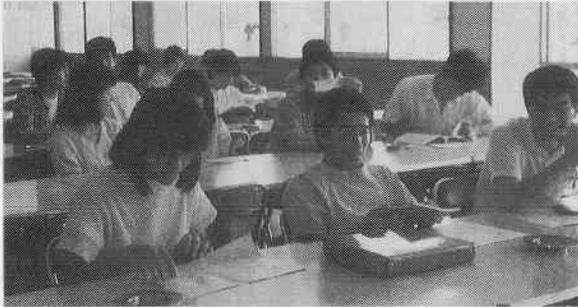
合発表会」のゲスト講演を企画したり、また、当日会館で「卒業生の

集い」を開いて、総会と立食パーティーによる懇親会を開催しています。今年のゲストは、

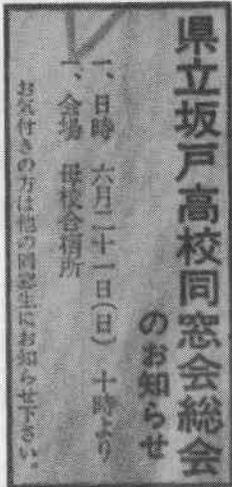
日本テレビの朝の番組で有名な英会話のウィッキーさんをお招きしています。

そして、すでに会員の皆様方のお手元に調査やご案内が届いていると思いますが、十年ぶりに同窓会名簿を今年七月発行したいと考えております。名簿は、一つの区

切りとして考えておりますので、ぜひ購入していただければ幸いです。また、いろいろな企画をしてまいりますので、ぜひ会員の皆様方の参加とご協力をお願いしたいと考えております。



▲合宿棟での総会



▲総会開催の新聞広告



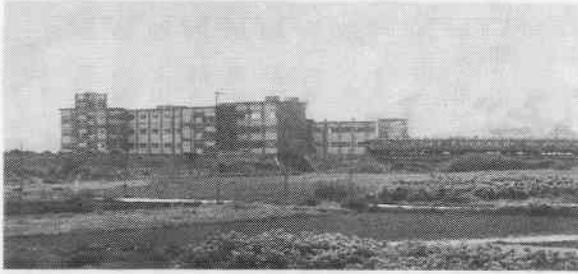
▲開校当時の校舎



▲第1回卒業生の集いの受付



▲昭和62年ころの校舎



▲昭和47年ころの校舎と東上線の電車

私は同窓会会の関係で高校に何度足を運ぶことがあり、そのとき思うことは諸設備がたいへん充実してすばらしい環境になったということとです。



▲副会長 小塚市郎

二十年前の坂戸高校の様子

小塚市郎(三回生)

私が入学した頃は、H R棟、特別棟しかありませんでした。校庭は、たいへん荒れていて小石がゴロゴロしていました。一年生のときに管理棟の工事が始まり、杭打ちの音が響く中で授業を受ける状態でした。

所属していた体操部の練習場は、プレハブの建物で、その中で三つのクラブが同時に練習するという状況でした。また、器具等もそろっていないだったので、土曜日になると松山高校や川越商業高校へ練習をさせてもらうために通いました。

五年前、私が体操部の夏合宿に差し入れをもって行ったときに、当時お世話になった松山高校の三年生と劇的な再開をしました。その人が現在坂戸高校の体操部顧問の松井先生なのです。今思うと、当時のことが懐かしい思い出となっています。

国際交流事業の開始・外国語科棟の完成・第四回春の文化祭開催

母校近況



▲平成5年3月完成の外国語科棟

平成四年度、外国語科の開設に伴って、国際交流事業が開始され、昨年六月にオーストラリアのスコッチ・オークバイン高校(タスマニア州)の生徒が坂高を訪れ、七月に坂高の生徒がスコット・オークバイン高校を訪問しました。

今年三月に待望の外国語科棟が、完成しました。棟内は、L S教室、語学学習室、セミナー教室等が設けられています。

平成四年四月十二日に「第四回文化部総合発表会」が開催されました。同窓会のご支援で大東文化大学陸上部監督青葉昌幸先生をお招きすることができました。

坂戸高校教諭
吉田 勇(三回生)



▲海外交流事業風景



▲青葉先生へ同窓会から花束贈呈



青葉昌幸先生▶



平成四年度同窓会総会報告

平成四年四月十二日、平成四年度同窓会総会が母校の「文化部総合発表会」と合わせて坂戸文化会館で開催されました。

会長のあいさつの後、平成二年度事業報告、会計報告に続き、平成四年度事業計画案、予算案が審議され、承認されました。

卒業生の集い

総会終了後、「卒業生の集い」を行いました。

内容は、立食パーティー形式の懇親会で行われました。

今回は、参加者が事務局が予想していた人数を上回り、用意していた料理や飲み物が足りずうれしい悲鳴をあげるようでした。
今後このような催しを続けて参りますので、参加をお待ちしています。



▲19回生



▲18回生



▲1・3・4・5・8回生



▲13・14・15回生

■同窓会によせて

退職に際して

同窓生の皆さん、益々のご健勝のことと心よりお喜び申し上げます。

縁あって、本校の校長を命ぜられて早くも二年が経過しましたが、その間にいろいろなことがありました。その中で特に印象深く、確信を持って言えることは、坂戸高校が常に発展の一途をたどっているということ。その陰には、

同窓会の皆様をはじめ地域社会の方、PTA、後援会の方々のご支援・ご協力があったこそと深く感謝し、お礼申し上げます。

地域の皆様の熱心なご要望に因りて設立された外国語科も順調にすべり出して、一年が経過しました。また、三月には県下に誇り得る外国語科棟も完成して、坂戸高校に新しい一ページを加えることができました。

また、県教育委員会より国際理解教育推進校に指定されて、オーストラリアにあるスコッチ・オークバーン高校との相互交流を実施

前坂戸高校校長
杉田 治正

することができました。

平成四年度の卒業証書授与式は、三月十日に行われましたが、第二十回ということで記念すべきであった。第一回から本校を巣立っていった卒業生の皆さんは、総勢七、七九〇名です。これほど多くの皆さんが各界で活躍していると思うとたのもしい限りです。

こういう多くの皆さんに支えられて大過なく勤務させていただきました。

最後になりましたが、坂戸高校の発展と、同窓会の皆様のご活躍をお祈りいたします。



事務局より

平成五年度
同窓会総会討議資料

〔新年度役員〕

会長 坂本 毅(一回生)
副会長 小塚 市郎(三回生)
田中 康夫(四回生)

清水 芳昭(五回生)

会計 小園 雅子(九回生)

役員 関根 和幸(十七回生)
水野 大輔(十八回生)

監事 浅野 昭一(九回生)
加納亜紀子(十八回生)

顧問 吉田 勇一(三回生)

〔二十回生評議員〕

平成五年度から新しく評議員に加わる方々です。

- 一組 今泉 尚樹・林 憲彦
- 二組 吉原 将之・大橋 睦美
- 三組 植木 克彦・来崎 尚子
- 四組 島中 孝・小池 昭子
- 五組 鈴木 誠・山崎 昌子
- 六組 大川 直・高比良志乃
- 七組 佐藤 好則・菅野 正純
- 八組 藤野 玄・大石 雅子
- 九組 小松 雅也・安田真由美
- 十組 八代 徹平・伊藤 彩子
- 十一組 田村 賢二・水野 要

平成4年度 会計報告 (単位は円)

平成4年度事業報告

1.歳入

科目	予算額	決算額
繰越金	13,272	13,272
19回生入会金	1,912,000	1,912,000
雑収入	10,000	6,850
合計	1,935,272	1,932,122

2.歳出

科目	予算額	決算額
庶務費	200,000	66,268
会議費	200,000	97,320
慶弔費	50,000	10,000
事業費	1,480,000	1,682,280
(春の文化祭)	(280,000)	(282,280)
(調査準備費)	(1,200,000)	(1,400,000)
予備費	5,272	0
合計	1,935,272	1,855,868
繰越金		76,254

- 4月12日 総会 坂戸文化会館
春の文化祭《特別講演》
ゲスト 青葉 昌幸氏
(大東文化大学陸上部監督)
- 同窓会だより第4号発行
- 9月6日 役員会
(総会、春の文化祭反省)
- 12月5日 役員会
(春の文化祭、同窓会だよりの準備)
- 2月5日 役員会
(春の文化祭、同窓会だよりの準備)

平成5年度 予算(案) (単位は円)

平成5年度事業計画

1.歳入

科目	予算額
繰越金	76,254
20回生入会金	1,956,000
雑収入	7,000
合計	2,039,254

2.歳出

科目	予算額
庶務費	200,000
会議費	150,000
慶弔費	50,000
事業費	1,600,000
(春の文化祭)	(1,000,000)
(名簿作成費)	(600,000)
予備費	39,254
合計	2,039,254

- 4月11日 総会 坂戸文化会館
春の文化祭《特別講演》
ゲスト ウィッキーさん
- 同窓会だより第5号発行
- 9月 役員会
- 12月 役員会
- 2月 役員会

事務局からのお知らせ

同窓会名簿購入のお願い

平成五年七月に発行予定の「同窓会名簿」について、ご連絡がすでにお手元に郵送されていると思いますが、母校同窓会の発展のためにも、ぜひご購入くださるようお願い申し上げます。

編集後記

二十周年を記念して会員にお集りいただいた座談会を企画いたしました。当日の参加者が少ないために誌上での紹介ができませんでした。これも編集委員の力不足と痛感しています。これからも会員の皆様のご協力をお願いします。

《同窓会だより》(第五号) 編集発行

埼玉県立坂戸高等学校同窓会

印刷

トキワ印刷所
〇四九三二二一〇八六五

